

べるべき柄ではないが係りの方からの御要求があつたので失禮とは思ひつゝ私が平生最も重要な問題として考へて居る所を研究問題として發表させて頂いた次第である。何卒今後斯道に御體驗深き實際諸賢より此問題について御發表あらむことを御願ひする次第である。

感想

高松玉藻幼稚園 推名 靜枝

子供の時分に感じた事が現在、大人になつた自分のやつて居ります事の導火線になつて居ります。お砂場に遊んで居ります子供を海岸に連れてまゐりますと、とても元氣になります。机の上から、土の上、砂の上に繪を持ち出させますと繪が大きくなります。私は子供を限りなく伸ばし果てしもなく廣い世界に放ちたいと思ふのです。曾つて、

私が幼稚園児だつた時、先生が私の畫いた繪について、其んな富士山はないとか、そのすぢから出てはいけぬと御仰いました。だつて私は富士山は見たことがない。だつてこのすぢの上まで續いて居るのですものと言いたかつた衝動を覚えて居ります。私は子供の思想を何處までも伸ばし度いと思ひます。子供は大きいものを要求致して居ります。そのためには粘土製作がよいのです。

私が始め幼稚園にまゐりました時、ぜんまい仕掛の玩具、きれいな玩具―それは持つて遊ぶ玩具ではなくて百貨店の飾窓式に只眺めるのです―それが澤山飾棚にありました。この頃それは一塊の粘土と變つて仕舞ひました。

粘土の前に立つ時幼児は非常によくびました。製作するに先だつて保姆自身が粘土の製作を致して居ります。さうすると幼児はその周りに寄つて来て、其處にある大きな粘土の塊から自分達も作

りははじめます。無限に粘土は與へられるものから次第に大きいものを作り出しました。子供の心を大きくくく伸ばすので子供はよろこびます。私は粘土細工とは申しません、子供等の藝術品とよびます。

繪にいたしましたしても西洋紙一枚の大きさに筆にたつぷり墨をふくませて畫かせます。いゝものがかけます。自分がこの様な事を考へるのはよいか悪いか分りませぬが、只大きくくくといふ事を思つて來たのです。

感想

石野喜十郎

私の此頃の所感は、近來思想善導が非常にやかましく唱導せられ、或は國難來とまで申されて居りますが、私は思想善導は幼児教育の振興にある

と思ふ。幼児教育の振興は思想善導の急務なりと申し度い。子供は生れ落ちた時は白玉で善惡の何れに育つも躰方一つである。よくも悪くもなることは三十年前から教へられてあり、十九世紀の始めにも云はれてある家庭教育が基礎となることと違ひないことだが、三歳以上になれば子供は群集生活をのぞむので家のみで育保をするのは望めぬ事である。幼稚園教育は、三歳迄は母の膝下にあつての家庭教育でよかつたその上に子供が他日社會に出て活動する習性を織り込む半意識的ではあるが、その大切な時期である。然るに一向に社會が認めぬ。私は情ない。大切な植附をする時を認めぬのだから。

十分に子供のあなかの中に立派な常識なり道德によつて皆さんが善良の習慣、つまり道德意識を養つてあげば、育て、ゆけば、十七八歳になつて狂うものではない。であるから何うしても幼児教